

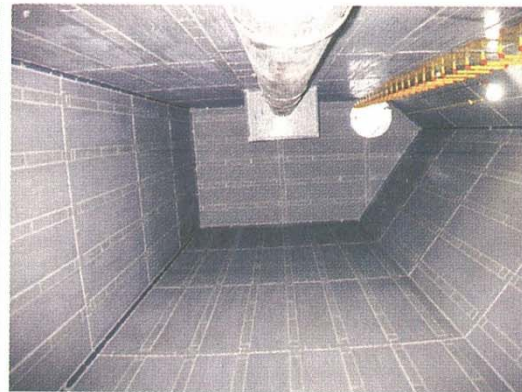
## J E Rコンクリート補改修協会

# 高耐久性のシートライニング

下水道普及率の向上に伴い、老朽化施設が急増し、稼働中の施設の補修増加が予測されている。稼働中の施設で補修を行う際には、高温環境や下地コンクリートの湿潤環境下での施工となるため従来の塗布型ライニング工法での対応は困難であり、現在では腐食環境にかかわらず高温環境や下地が湿潤環境で施工可能なシートライニング工法や耐硫酸モルタル防食工法が用いられている。稼働中の施設の補修における防食被覆グレードを腐食環境に対応させるためには高温環境下で施工可能な防食技術が求められる。

シートライニング工法に分類される「ジックボード工法」は、工場で完全硬化させた高耐久性のポリエステル樹脂FRP板の裏面に立体クロスを一体成型した複層成形板（ジックボード）を用いることにより、高温環境下の施工でも、防食被覆層の品質性能に影響を受けない。ジックボードとコンクリート躯体の隙間に充填される無機質系グラウト材とジックボード裏面の立体クロスが強固に絡み合い、対象コンクリート躯体の吸水状態に左右されずに良好な接着性を有しており、ジックボード全面でコンクリート躯体と一体化する。目地・入隅・出隅部の処理は、耐酸性シーラ材とポリエステル樹脂FRP製の成形目地を適用している。処理場施設の角形構造だけでなく、マンホールや管きょ等の円形

## ジックボード工法



施工完了の様子

形状に対しての施工が可能である。ジックボード工法は、日本下水道事業団の防食技術マニュアルのシートライニング工法の品質規格に適合しており、腐食が極度に見られる腐食環境で、点検・補修・改築が困難な施設での実績を多数有している。

ジックボード工法が、下水道施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減に寄与することができれば幸いである。